



平成22年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年10月27日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ウェアハウス

コード番号 4724 URL <http://www.warehouse.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 武藤 淳一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括マネージャー

(氏名) 植田 季明

TEL 03-3257-1040

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第3四半期の業績(平成22年1月1日～平成22年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第3四半期	7,071	△16.4	24	△95.5	35	△93.0	△1,565	—
21年12月期第3四半期	8,463	—	545	—	504	—	177	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第3四半期	△157.74	—
21年12月期第3四半期	17.86	—

(注)平成21年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。平成22年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であり、また、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年12月期第3四半期	15,468	9,491	61.3	956.31
21年12月期	18,644	11,175	59.9	1,126.04

(参考)自己資本 22年12月期第3四半期 9,489百万円 21年12月期 11,173百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	—	12.00	—	12.00	24.00
22年12月期	—	0.00	—	—	—
22年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成22年12月期の業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,200	16.7	△170	—	△170	—	△1,830	—	△184.42

(注)当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「2.その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年12月期3Q 10,728,000株 21年12月期 10,728,000株

② 期末自己株式数 22年12月期3Q 805,023株 21年12月期 804,914株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 22年12月期3Q 9,923,026株 21年12月期3Q 9,923,086株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいております。実際の業績は、今後様々な要因により予想値と異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等につきましては、【添付資料】P.2「1.当四半期の業績等に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(第3四半期累計期間)	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	9

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策等により一部で持ち直しの動きが見られるものの、企業業績や雇用情勢は依然として厳しく、個人消費の低迷、円高の進行やデフレ等、引き続き予断を許さない状況であります。

このような経済状況のもとで当社は、お客様に「ウェアハウスに行けば何か楽しい事に出会える」と思ってもらえるよう、引き続き顧客第一主義の接客に取り組んでまいりました。

レンタル部門売上高につきましては、映像部門において販促キャンペーンを実施し、客単価の上昇は見られたものの客数が前年同期までには及ばず軟調な推移となり、前年同期比13.2%減少の2,740百万円となりました。また、アミューズメント施設部門売上高につきましては、来客増加に繋がるような新型アミューズメント機器の発売も無く、客数が減少したことなどから既存店売上高が減少し、前年同期比18.4%減少の4,331百万円となり、その結果、全体として売上高は前年同期比16.4%減少し、7,071百万円となりました。

利益につきましては、経常利益は、売上高の減少の影響により、前年同期比93.0%減少の35百万円となり、四半期純損失は、当社が保有する営業店舗に係る固定資産について一部減損処理を実施したこと等により1,565百万円(前年同期は四半期純利益177百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期会計期間末の総資産は15,468百万円となり、前事業年度末と比較して3,176百万円の減少となりました。これは主に、建物及びアミューズメント機器を始めとした固定資産の減価償却及び固定資産の減損損失等によるものです。

また、当第3四半期会計期間末の負債は5,976百万円となり、前事業年度末と比較して1,491百万円の減少となりました。これは主に、社債の償還及び長期借入金の返済等によるものです。

なお、当第3四半期会計期間末の純資産は9,491百万円となり、前事業年度末と比較して1,684百万円の減少となりました。これは主に、四半期純損失による利益剰余金の減少によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は1,877百万円となり、前事業年度末と比較して782百万円の減少となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間において、営業活動の結果得られた資金は1,191百万円となりました。これは主に税引前四半期純損失1,666百万円、減価償却費1,322百万円、減損損失1,524百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間において、投資活動の結果使用した資金は727百万円となりました。これは主にアミューズメント施設等に係る有形固定資産の取得による支出829百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間において、財務活動の結果使用した資金は1,246百万円となりました。これは主に長期借入金の返済による支出736百万円、社債の償還による支出390百万円、配当金の支払額119百万円によるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、本日発表の「業績予想の修正及び特別損失計上に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

繰延税金資産の回収可能性の判断については、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前事業年度決算において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっており、前事業年度末以降に経営環境等、又は、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前事業年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

②特有の会計処理

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

従来、税金費用については、四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっておりましたが、当第3四半期会計期間より年度決算と同様の方法により計算する方法に変更しております。

この変更は、当第3四半期会計期間より当社が株式会社ゲオの連結子会社となったことに伴い、親会社の会計処理方針に統一したことによります。

なお、これによる当第2四半期累計期間及び当第3四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,877,286	2,659,388
商品	57,652	99,095
貯蔵品	25,507	16,532
前払費用	117,363	121,312
繰延税金資産	65,012	36,783
未収還付法人税等	—	130,462
立替金	9,115	15,149
その他	25,076	10,236
流動資産合計	2,177,013	3,088,958
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	5,949,086	7,646,757
構築物(純額)	379,880	533,361
アミューズメント機器(純額)	1,225,063	1,548,999
工具、器具及び備品(純額)	387,255	445,360
土地	2,674,150	2,674,150
建設仮勘定	—	6,300
有形固定資産合計	10,615,436	12,854,929
無形固定資産		
ソフトウェア	8,577	7,038
電話加入権	5,529	5,529
無形固定資産合計	14,106	12,567
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,526,747	1,623,131
長期前払費用	17,032	20,467
投資不動産(純額)	876,853	887,576
繰延税金資産	240,816	156,561
投資その他の資産合計	2,661,449	2,687,736
固定資産合計	13,290,992	15,555,233
資産合計	15,468,006	18,644,191

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	124,295	172,341
1年内返済予定の長期借入金	978,640	978,640
1年内償還予定の社債	484,000	484,000
未払金	328,733	505,548
未払費用	129,906	107,093
未払法人税等	11,713	—
未払消費税等	15,129	149,818
預り金	12,847	40,241
前受収益	5,674	4,515
賞与引当金	28,500	—
流動負債合計	2,119,439	2,442,197
固定負債		
社債	655,000	1,045,500
長期借入金	2,340,620	3,077,000
長期未払金	14,836	14,836
退職給付引当金	212,975	213,364
長期預り保証金	633,680	675,460
固定負債合計	3,857,111	5,026,160
負債合計	5,976,550	7,468,357
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,276,609	1,276,609
資本剰余金		
資本準備金	1,335,650	1,335,650
その他資本剰余金	1,177	1,177
資本剰余金合計	1,336,827	1,336,827
利益剰余金		
利益準備金	65,395	65,395
その他利益剰余金		
別途積立金	4,000	4,000
繰越利益剰余金	7,371,598	9,055,942
その他利益剰余金合計	7,375,598	9,059,942
利益剰余金合計	7,440,994	9,125,338
自己株式	△565,032	△564,997
株主資本合計	9,489,397	11,173,776
新株予約権	2,057	2,057
純資産合計	9,491,455	11,175,834
負債純資産合計	15,468,006	18,644,191

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)
売上高	8,463,599	7,071,990
売上原価	3,272,380	2,658,600
売上総利益	5,191,219	4,413,389
販売費及び一般管理費	4,645,545	4,388,813
営業利益	545,673	24,576
営業外収益		
受取利息	19	12
受取ロイヤリティー	5,400	3,000
協賛金収入	4,414	12,649
レンタル延滞金収入	2,367	—
不動産賃貸料	1,002	39,810
助成金収入	—	16,370
その他	13,484	13,828
営業外収益合計	26,688	85,670
営業外費用		
支払利息	67,289	63,689
不動産賃貸原価	—	10,722
その他	210	435
営業外費用合計	67,500	74,847
経常利益	504,861	35,399
特別利益		
固定資産売却益	3,560	11,676
レンタル用資産売却益	—	13,736
特別利益合計	3,560	25,412
特別損失		
前期損益修正損	10,315	—
固定資産売却損	36,935	59,596
固定資産除却損	80,094	117,861
減損損失	—	1,524,355
その他	26,142	25,730
特別損失合計	153,487	1,727,544
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	354,934	△1,666,731
法人税、住民税及び事業税	177,688	11,019
法人税等調整額	—	△112,484
法人税等合計	177,688	△101,465
四半期純利益又は四半期純損失(△)	177,245	△1,565,267

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	354,934	△1,666,731
減価償却費	1,725,932	1,322,377
減損損失	—	1,524,355
賞与引当金の増減額 (△は減少)	36,000	28,500
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	23,224	△389
受取利息	△19	△12
不動産賃貸料	—	△38,700
支払利息	67,289	63,689
レンタル用資産売却益	—	△13,736
固定資産売却損益 (△は益)	33,374	47,920
固定資産除却損	80,094	117,861
前期損益修正損益 (△は益)	10,315	—
その他の特別損益 (△は益)	26,142	—
たな卸資産の増減額 (△は増加)	29,345	32,467
その他の資産の増減額 (△は増加)	9,110	5,260
仕入債務の増減額 (△は減少)	△22,401	△48,046
未払金の増減額 (△は減少)	△180,129	△129,173
未払費用の増減額 (△は減少)	25,175	23,510
未払又は未収消費税等の増減額	272,122	△132,331
その他の負債の増減額 (△は減少)	△13,152	△34,469
小計	2,477,359	1,102,352
利息の受取額	19	12
利息の支払額	△67,849	△63,811
役員退職慰労金の支払額	△32,576	—
レンタル用資産の売却による収入	—	13,736
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△367,911	139,390
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,009,041	1,191,679

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,616,070	△829,769
有形固定資産の売却による収入	29,262	14,294
無形固定資産の取得による支出	△3,030	△4,632
投資不動産の賃貸による収入	—	38,700
敷金及び保証金の差入による支出	—	△10,265
敷金及び保証金の回収による収入	15,643	83,712
預り保証金の返還による支出	△935	△21,780
預り保証金の受入による収入	390,000	—
その他	△4,897	2,621
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,190,028	△727,117
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	800,000	—
長期借入金の返済による支出	△571,320	△736,380
社債の償還による支出	△390,500	△390,500
自己株式の取得による支出	—	△34
配当金の支払額	△247,469	△119,748
財務活動によるキャッシュ・フロー	△409,289	△1,246,663
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	409,723	△782,101
現金及び現金同等物の期首残高	1,568,756	2,659,388
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,978,480	1,877,286

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

品目別売上高表

部門	前第3四半期累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)	(参考) 前事業年度 (平成21年12月期)
	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)
I レンタル部門			
ビジュアル	2,524,151	2,169,210	3,325,767
オーディオ	541,654	489,760	712,934
その他	89,844	81,320	119,958
部門合計	3,155,650	2,740,290	4,158,660
II アミューズメント施設部門			
ゲーム	5,065,389	4,077,089	6,565,801
その他	242,559	254,609	325,365
部門合計	5,307,948	4,331,699	6,891,166
合計	8,463,599	7,071,990	11,049,826

- (注) 1. 数量については、品目が多岐にわたり表示が困難であるため、記載を省略しております。
2. レンタル部門における「その他」は、主として年会費収入であります。
3. アミューズメント施設部門における「その他」は、主として自動販売機収入、ネットカフェ収入及びカラオケ収入であります。
4. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。
5. 上記売上高には、消費税等は含まれておりません。